

# 東駿河湾環状道路 見聞録

## 地域との協働 地域住民との合意形成の提案

## 細やかな配慮 桁下空間の有効利用や歩きやすい歩道整備の提案



人工芝の敷設により、人に優しい多目的広場として活用



スムーズ歩道の採用でバリアフリーな歩道を実現

## 経済的 4連カルバート工法を提案



軟弱地盤上での荷重軽減対策

## 環境景観対策 騒音・振動対策と環境施設帯設置方法の提案

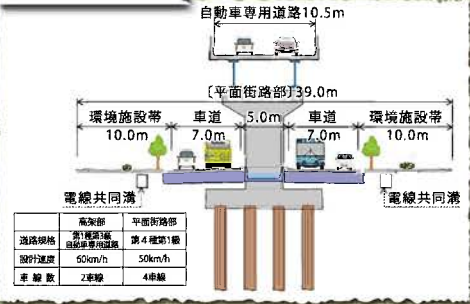


樹種をみんなで選んだ植樹帯と電線類の地中化



透明板と吸音板を組み合わせた多機能な遮音壁の採用

## 道路諸元



## 事業のあらし



東駿河湾環状道路は、平成25年度までに沼津ICから伊豆中央までの延長16.8kmを供用開始した。このうち静岡県施工区間である延長1.94kmの道路計画に参画し、静岡県を始めとする各関係機関との協議を行い、地域住民と一体となり、総合コンサルタントとして様々な技術的提案を行いました。



ワークショップ開催  
住民意見を反映



副道に速度抑制対策や地域の交流と風通しを確保



ワークショップで高架橋下の活用を検討



長支間横断歩道橋

## 出前講座 小・中・高校生にも事業をPR



雨水を地下に！透水性舗装の実験



樹種はみんなで決めました



跨線橋と基礎杭に描いた、みんなの夢！

## 安心・安全 調整池計画と自転車歩行者の分離計画の提案



雨水流出抑制対策  
高架橋下中央分離帯の活用



歩行者と自転車の分離

## 事業概要



函南町塚本から大土肥方向を望む

- ・高架部：函南高架橋（橋長：1,246m）、大土肥高架橋（橋長：343m）
- ・伊豆箱根鉄道跨線橋（橋長：146m）
- ・平面街路部：延長1.94km（静岡県施工区間）